

研究構想シート		学校名	大田市立北三瓶中学校
		氏名	中林 千春
A 研究主題		学びをつなぐ児童・生徒の育成	
B 研究の目的		個や集団の中で学びをつなぐを場面を意図的に設定することで、生徒一人一人が意欲的に学習に取り組む態度を育成する。	
C 子どもの実態 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校生徒13名の小規模学校である。中1…5名、中2…1名、中3…7名</li> <li>・山村留学センターが校区内にあり、毎年メンバーが大きく変わる。</li> <li>・比較的に真面目に学習に取り組むことができている。</li> <li>・自分の考えを伝える活動に抵抗感のある生徒の割合が大きい。</li> <li>・自ら問いをもって探求したり、発展的に考える姿があまり見られない。</li> <li>・他の意見と自分の考えを比較して、考えを深める意欲が低い。</li> </ul>	E 手立て・内容（研究仮説） <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究職員会を開き、生徒の実態を共有する。</li> <li>・学びをつなぐための授業における手立てをそれぞれの教科で考え、年間を通して各教科で実践を行う。</li> <li>・実践したことを共有することで、生徒の実態に応じた授業改善を学校全体で行えるようにする。</li> </ul>		
	F 検証方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・発言や活動の様子の観察、記録</li> <li>・島根県学力調査における質問項目</li> </ul>		
	D めざす子どもの姿 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを伝えようとしている姿。</li> <li>・他の意見と自分の意見を比較して考えようとしている姿。</li> <li>・自ら問いをもって探求したり、発展的に考えようとしている姿。</li> </ul>		
G 研究計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材研究および研究授業、研究協議</li> <li>・研究職員会議において、生徒の実態の共有と、各教科において研究主題の手立てを考え、年間を通して実践する。</li> </ul>			